

こども育成課長の仕事宣言！ 進行管理表

こども育成課長 石橋 沢 預

重点事業の概要 [事業名：子育て支援センター事業] [目標値：15,000人]

○この事業は、リーディングプロジェクト5未来を創る人を育てるプロジェクトに位置づけられた取組みの「地域での子育て支援事業」を達成するために育児相談や育児講座等を実施し、育児不安の軽減に努めます。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	子育て支援センターでの子育て親子の交流の場の提供と子育て等に関する相談等の実施や子育て機関紙、とっとネット等での情報発信を実施しました。また、地域支援活動として、まちづくり推進センターでの親子遊びの会、ママ・コミュひろば等の実施やとっとスマイル赤ちゃん訪問事業を実施しました。さらに、より重点的な支援が必要な家庭の訪問事業についても対応を拡充しました。
	自己評価	親子共に友達づくりの促進や育児に対する不安や悩みの軽減が図れました。また、就学前のお子さんを持つ保護者と未就園児の保護者の交流の場を提供することで、育児の孤立化の防止が図れました。
	下半期への対応	各小学校区への支援センター設置など、事業の拡充に向け、具体的な取り組みを協議します。
下半期	取組実績	民間の子育て支援センターとの情報交換を密にししながら、センター内や出前広場で親子の交流の場を提供するとともに、講座や相談等の実施により、子育ての不安解消に努めました。また、子育て家庭の訪問事業の実施により交流の場への誘導や、子育て支援が必要な家庭の掘り起しを図りました。
	自己評価	センターでの相談業務や、子育て家庭の訪問事業により、子育て支援に係るニーズを把握することができ、様々な対応をしていく中で他の関係機関との連携も深められてきました。
	目標値の達成状況	子育て支援センター利用者は15,323人(平成28年1月末現在)です。
	次年度への対応	様々な機関と連携しながら年間を通して地域に根付いた活動やニーズに対応した事業が展開できるよう、引き続き検討を進めていきます。

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

子育て支援センターでの子育て親子の交流の場の提供や子育て情報の発信、また、まちづくり推進センターでの未就学児を対象とするママ・コミュひろばの実施や、地域の方との親子遊びの会などでの交流など、地域での子育て支援事業の推進に努めること。

下半期

今後も、市内の子育て支援センターとの情報交換を行いながら、地域での子育て支援事業を実施すること。また、センターでの相談業務や子育て家庭の訪問事業を行うとともに、まちづくり推進センター等の利用や地域の方との連携、交流を図り事業を進めていくこと。

こども育成課長の仕事宣言！ 進行管理表

こども育成課長 石橋 沢 預

重点事業の概要 [事業名：子育て支援総合コーディネート事業]

○この事業は、リーディングプロジェクト5未来を創る人を育てるプロジェクトに位置づけられた取組みの「地域での子育て支援事業」を達成するために子育てに関する情報の効果的な発信に努め、子育て支援活動の資質向上に努めます。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	子育て応援情報紙及び子育て支援関連機関情報紙による定期的な情報発信を実施しました。また、子育て支援関連機関交流会及び研修会を開催しました。
	自己評価	子育て支援関連機関交流会の開催により、各関連機関の情報共有及び情報交換等連携を深めることができました。
	下半期への対応	下半期に子育て支援関連機関交流会及を開催し、より一層、各関連機関の連携強化を図りたい。
下半期	取組実績	子育て応援情報紙及び子育て支援関連機関情報紙、市ホームページ等による定期的な情報発信を実施しました。また、子育て支援関連機関交流会及び研修会を開催しました。
	自己評価	子育て支援関連機関の研修会・交流会ではいつも活発な意見や情報の交換があっており、悩みを共有し解決策を一緒に考えるなど多くの関連機関の連携強化に繋がっています。
	目標値の達成状況	子育て支援関連機関との交流会及び研修会を実施することで、情報交換及び情報共有等連携が強化できている。
	次年度への対応	コーディネーターによる積極的な関係機関や活動団体の訪問を実施するとともに子育て関連情報の効果的な発信に努めます。また、各関連機関の連携をより強固なものにするため、継続して交流会・研修会を開催します。

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

子育て支援関連機関の連携強化に努めるとともに、子育て世帯への情報の発信についても継続して強化拡充を図ること。

下半期

今後とも交流会及び研修会などにより、子育て支援関連機関の連携強化に努めること。また、子育て家庭に対し、よりきめ細やかな情報を提供できるように、保護者のニーズの把握も行い、子育て応援情報紙及び子育て支援関連機関情報紙の発行を行うこと。

こども育成課長の仕事宣言！ 進行管理表

こども育成課長 石橋 沢 預

重点事業の概要 [事業名：各種保育サービスの拡充]

○この事業は、リーディングプロジェクト5未来を創る人を育てるプロジェクトに位置づけられた取組みの「子育てと仕事の両立支援」を達成するために多様化した保護者の保育ニーズに柔軟に対応できるよう、保育サービスの充実を図ります。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	一定の水準にある認可保育施設の各種保育サービスを行いながら、更なる保育サービスの拡充に向けて、「鳥栖市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、保育園3園と認定こども園1園の新設計画を採択しました。
	自己評価	「鳥栖市子ども・子育て支援事業計画」に基づき待機児童解消に向けた取り組みを進めています。
	下半期への対応	引き続き、採択事業について各事業者と協議を進めるとともに、保育サービスの充実に努めます。
下半期	取組実績	保育所等新設計画事業者との協議を進めながら、施設の新設に係る様々な手続きに係る情報の提供を行いました。
	自己評価	各事業者の努力により、保育所新設準備に係る課題を少しずつ整理していただき、現時点までは予定通りの進捗状況です。
	目標値の達成状況	平成28年1月末現在の待機児童数は、5名です。
	次年度への対応	保育園3園と認定こども園1園の施設整備に係る経費の一部を助成します。

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

保護者の保育ニーズを把握し、多様な保育サービスの拡充に努めること。また、「鳥栖市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、待機児童解消に向けた取り組みを進めること。

下半期

「鳥栖市子ども・子育て支援事業計画」に基づき待機児童の解消を図るため、保育所等新設計画事業者との協議を進めこと。

こども育成課長の仕事宣言！ 進行管理表

こども育成課長 石橋 沢 預

重点事業の概要 [事業名：子ども・子育て支援給付事業]

○この事業は、リーディングプロジェクト5未来を創る人を育てるプロジェクトに位置づけられた取組みの「子育てと仕事の両立支援」を達成するために地域のニーズを踏まえ保育所、認定こども園、小規模保育事業などによる就学前の教育、保育及び子育て支援サービスを提供します。また、既存保育所の定員増、幼稚園への認定こども園への移行を働きかけるなど供給量の確保に努め、待機児童の解消に努めます。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	各事業所の円滑な新制度への対応を支援し、就学前の教育、保育及び子育て支援サービスを提供しました。また、新制度施行により、認定こども園1施設、地域型保育事業所4施設が増加しました。
	自己評価	新制度への移行が混乱なく進みました。
	下半期への対応	引き続き、質の高い幼児期の教育・保育の総合的な提供に努めるとともに、サービス供給量の確保に努めます。
下半期	取組実績	施設型等保育給付を通して、教育・保育の総合的な提供に努めるとともに、保育供給量の拡充に向けた各事業者との協議を進めました。
	自己評価	保育所新設計画、認定こども園への移行計画が順調に進み、保育供給量の増加が見込まれます。
	目標値の達成状況	—
	次年度への対応	引き続き、質の高い保育サービスの提供に努めるとともに、保育供給量の拡充に向けた保育所の新設、増員、認定こども園への移行を進めます。

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

今年度から始まった子ども・子育て支援新制度です。幼児期の教育・保育および地域子ども・子育て支援事業を円滑に実施し、子どもが健やかに成長できる、また、子育てをしやすい環境づくりに取り組むこと。

下半期

子ども・子育て支援新制度に基づく施設型等保育給付を通して、教育・保育の総合的な提供に努めること。また、保育供給量の拡充に向け、保育所新設、認定こども園への移行を計画している事業者との協議を進めること。

こども育成課長の仕事宣言！ 進行管理表

こども育成課長 石橋 沢 預

重点事業の概要 [事業名：幼保小連携事業]

○この事業は、リーディングプロジェクト5未来を創る人を育てるプロジェクトに位置づけられた取組みの「幼稚園と保育所の連携」を達成するために小学就学時に児童がよりスムーズに適応できるよう、幼保小の連携を図るものです。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	幼保小連絡協議会開催 1回
	自己評価	各小学校区内の課題、子どもたちの問題傾向などの共通認識、情報の共有化が図れた。
	下半期への対応	幼保小連絡協議会を開催し、各小学校区での取り組み状況や課題の情報交換を行い、連携の強化を図ります。
下半期	取組実績	幼保小連絡協議会開催 1回
	自己評価	各校区内における幼保小関連機関による活動状況が把握でき、連携を図ることの重要性を再認識しました。
	目標値の達成状況	幼保小連絡協議会開催の目標回数は3回ですが2回実施しました。
	次年度への対応	引き続き、小学校への接続期の教育が円滑になるよう、協議会を開催します。

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

子どもたちが就学前後の環境の変化に対応しスムーズな学校生活がおくれるように、また、子どもたちの問題傾向などの共通認識、情報の共有化が図れるような機会を設けること。

下半期

各発達段階での課題・問題の共有化を図り、小学校でスムーズな生活がおくれるよう連携を図りその解消に努めること。

こども育成課長の仕事宣言！ 進行管理表

こども育成課長 石橋 沢 預

重点事業の概要 [事業名：幼児教育振興助成事業]

○この事業は、リーディングプロジェクト5未来を創る人を育てるプロジェクトに位置づけられた取組みの「幼稚園と保育所の連携」を達成するために教育水準の維持・向上の観点から、私立幼稚園の教諭等の研修費の一部を補助するものです。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	今年度からスタートした子ども・子育て支援新制度における私立幼稚園の移行状況を調査するとともに今後の助成事業のあり方を検討しました。
	自己評価	新制度における施設型給付については、詳細が未確定の部分があり、私立幼稚園の新制度への移行が進んでいないため、助成のあり方については、引き続き検討の必要があります。
	下半期への対応	引き続き、情報収集に努め、助成のあり方について検討します。
下半期	取組実績	子ども・子育て支援新制度に移行しなかった事業者に対し、職員研修等の取組み状況を調査し、研修等経費の一部を助成しました。
	自己評価	幼児教育に従事する幼稚園教諭等の教育水準の維持・向上に寄与しました。
	目標値の達成状況	—
	次年度への対応	引き続き、助成を行います。

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

子ども・子育て支援新制度における施設型給付については、詳細が未確定の部分があり、また、私立幼稚園の新制度への移行も進んでいないため、助成のあり方については、引き続き検討してください。

下半期

子育て支援新制度に関する国の動向を見極めながら、新制度に移行しない私立幼稚園に対して適切に対応すること。

こども育成課長の仕事宣言！ 進行管理表

こども育成課長 石橋 沢 預

重点事業の概要 [事業名：子どもの医療費助成事業]

○この事業は、リーディングプロジェクト5未来を創る人を育てるプロジェクトに位置づけられた取組みの「母子の健康管理への支援」を達成するために医療費助成の対象を、通院については小学生まで、入院については中学生まで拡大し、子育て家庭の経済的な不安の解消を図るものです。

時期	項目	内 容
上半期	取組実績	通院については小学生まで、入院については中学生までの医療費助成を実施しました。また、助成対象の拡大について検討を進めました。
	自己評価	小学生までの通院医療費の助成及び中学生までの入院医療費の助成を行うことにより、子育て家庭の経済的負担の軽減が図れました。
	下半期への対応	引き続き、子どもの医療費助成を行い、拡充についても検討します。
下半期	取組実績	通院については小学生まで、入院については中学生までの医療費助成を実施しました。
	自己評価	小学生までの通院医療費の助成及び中学生までの入院医療費の助成を行うことにより、子育て家庭の経済的負担の軽減が図れました。
	目標値の達成状況	子どもの医療費助成の対象を、通院については小学生、入院については中学生としており、目標を達成できている。
	次年度への対応	引き続き、子どもの医療費助成を行います。

所管部長（リープロ担当部長）の指示

上半期

小学生までの通院医療費助成及び中学生までの入院医療費の助成を継続して行い、子育て家庭の経済的負担の軽減を図ること。また、助成対象の拡大について検討を進めること。

下半期

子どもの医療費助成を継続し、子育て家庭の経済的負担の軽減を図ること。